

●2012年4月1日 特定助教に阿部修士、畑中千紘(上廣こころ学研究部門)、特定研究員(上廣こころ学研究部門)に奥井遼、千石真理、非常勤研究員に中井隆介、教務補佐員に田中暁生、リサーチアシスタントに赤塚京子、外国人共同研究員にPeter Skrivanicが着任。特定助教の平石界、教務補佐員の柴崎暁子、オフィスアシスタントの駒田安紀が離職。

●4月1日 入来篤史(理化学研究所脳科学総合研究センターシニア・チームリーダー、神経生物学)、北山忍(ミシガン大学心理学部教授、文化心理学)、下條信輔(カリフォルニア工科大学生物学部教授、知覚心理学)の3名が特任教授に着任。

●4月1日 財団法人上廣倫理財団の寄付により寄付研究部門「上廣こころ学研究部門」設置。

●4月1日 南部総合研究1号館に、共同利用施設として「こころの未来研究センター連携MRI研究施設」設置。

●4月1日「ブータン学研究室」開設。ブータン仏教研究プロジェクト、京都大学ブータン研究会、ブータン文化講座などの研究教育事業を実施。

●4月16日 非常勤研究員に安田章紀、松下賀和、教務補佐員に阿部幸が着任。

●5月10日 第1回京都大学ブータン研究会(於:センター会議室)。参加者の自己紹介、研究会の方向性および内容について協議。

●5月16日 非常勤研究員に京野千穂が着任。

●5月17日 Rebecca McKenzie(イギリス・プリマス大学)講演会(於:稲盛財団記念館中会議室)。講演題目"Studies in autism: from cognition to intervention"。

●5月28日 第1回持続可能性ワークショップ「持続可能性と幸福度に関するワークショップ」(於:芝蘭会館別館研修室1)。報告:諸富徹(京都大学大学院経済学研究科教授)「幸福と持続可能性:理論と概念整理」、佐藤正弘(京都大学経済研究所准教授)「幸福から考える持続可能性の概念と指標」、内田由紀子「幸福研究の文化心理学的視

座:国際比較からわかること」。

●6月1日 教務補佐員に近藤令子が着任。

●6月25日 第4回身心変容技法研究会(於:稲盛財団記念館中会議室)。発表:蓑輪顕量(東京大学大学院人文社会系研究科教授、仏教学)「仏教における瞑想とその展開」。コメンテーター:井上ウィマラ(高野山大学准教授)、篠原資明(京都大学教授)。研究計画発表:井上ウィマラ・篠原資明・小倉紀蔵(京都大学教授)。

●7月6日 第1回ブータン文化講座(於:稲盛財団記念館大会議室)。講演:今枝由郎(フランス国立科学研究センター、CNRS)「仏教と戦争——第4代ブータン国王の場合」、座談会司会・コメンテーター:熊谷誠慈(京都女子大学)。

●7月11日 第3回「東日本大震災関連プロジェクト——こころの再生に向けて」(於:稲盛財団記念館大会議室)。第1部 趣旨説明:鎌田東二、基調報告1:玄侑宗久(福島県三春町福聚寺住職、作家)「福島の現在と宗教の役割と課題」、基調報告2:島藺進(東京大学教授、宗教学)「宗教者災害支援連絡会の活動15ヶ月を振り返って」。コメンテーター:稲場圭信(大阪大学准教授、宗教社会学)。第2部 報告1:黒崎浩行(國學院大学准教授、宗教学)「被災地の神社と復興の過程」、報告2:一条真也(本名:佐久間庸和、株式会社サンレー社長、北陸大学客員教授)「東日本大震災とグリーンフケアについて」。コメンテーター:鈴木岩弓(東北大学教授、宗教民俗学)、井上ウィマラ(高野山大学准教授、スピリチュアルケア学)。ディスカッション。司会:鎌田東二。

●7月12日 第5回身心変容技法研究会(於:稲盛財団記念館大会議室)。発表:鎌田繁(東京大学東洋文化研究所教授、宗教学・イスラム神秘主義研究)「スーフィズムにおける身心変容技法について」。コメンテーター:倉島哲(関西学院大学准教授)。研究紹介発表:中野民夫(同志社大学大学院総合政策科学研究科)「ワークショップにおける身心変容技法——調身・調息・調心と自然体験の工夫」。研究計画発

表:中川吉晴(同志社大学社会学部、ホリスティック教育学)。司会進行:鎌田東二。

●7月19日 第2回京都大学ブータン研究会(於:センター会議室)。発表:坂本龍太(京都大学白眉センター特定助教)「龍の国の扉」。

●7月30日 第17回注意研究会(於:京都大学総合人間学部棟1102講義室)。講演:Adam Gazzaley准教授(カリフォルニア大学サンフランシスコ校)"Neural networks underlying top-down modulation of visual processing"。

●8月1日 特定助教に長岡千賀、非常勤研究員に大塚結喜が着任。

●8月2日 スーパーサイエンスコアSSH事業夏季大学研修のため膳所高校および滋賀県立高校の生徒がセンターで心理学の授業・実験に参加。

●8月18日 「第11回こころの広場人の『こころ』のきた道とこれから」(於:稲盛財団記念館大会議室)。第1部 講演:内田亮子(生物人類学者:早稲田大学国際教養学部教授)「進化の時空間で『人間性』について考える」、入来篤史(脳科学者:理化学研究所シニアチームリーダー、センター特任教授)「『こころ』はどこに宿るのか:身体と文化の狭間で」。第2部 討論。司会進行:近藤令子。

●9月1日 研究支援推進員に大西ひかりが着任。

●9月5~7日 こころの科学集中セミナー2012「原発と潜在認知」(於:稲盛財団記念館中会議室)。講師:下條信輔(カリフォルニア工科大学教授、センター特任教授)、ゲスト:青野由利(毎日新聞専門編集委員・論説委員)、利島保(広島大学名誉教授)、高橋真理子(朝日新聞編集委員)。

●9月7日 内田由紀子准教授が「日本文化における幸福感——東日本大震災後の復興を支える心理と社会システム」で日本計画行政学会賞学術賞論説賞を受賞。

●9月7日 中井隆介研究員が第40回日本磁気共鳴医学会大会におけるポスター発表「演題: AuPt合金を用いた磁化率アーチファクト低減コイルの開発と評価」で学術奨励賞を受賞。